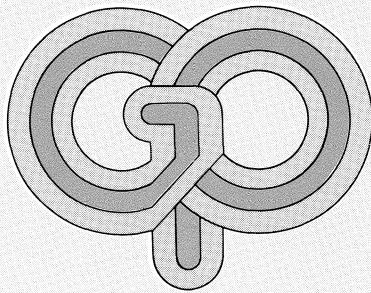


岐阜県の プラスチック



プラスチック・ゴム見本市／大阪を見学
プラスチック加工機の生産は過去最高
製品の高付加価値化に重点を図れ
パートタイムの雇用保険適用を拡大

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

プラスチック・ゴム見本市の会場で記念撮影



最先端技術や機器を一堂に

プラスチック・ゴム見本市を見学

インテックス大阪で花やかに開催

プラスチックの世界三大見本市の一つである『J P88—第12回日本プラスチック・ゴム見本市／大阪』は、11月10日から15日までの6日間、大阪の新しい国際見本市会場であるインテックス大阪の全館を使用し、盛大に開かれた。

当工業組合は9～10の2日間、特別バスによる見本市見学旅行を実施し、開会初日の会場をじっくり見学、また商談に加わった。

海外からの出品増加

東京と大阪で2年おきに開催する日本プラスチック・ゴム見本市は、見本市振興会を特別に組織し通産省などが後援、33の業界団体が協賛して開かれた。

その規模は、前回の東京に比べわずかに下回るものの、第10回の大阪開催に比べると、出品者数で26%増の490社、展示小間数では35%も増加する2,572小間にもなった。

また、海外での関心の高さを裏付けるように17カ国・地域から129社が出品、世界各国から多数の外国人が訪れ、一段と国際色豊かな見本市となった。主催した見本市振興会は「期間中の入場者は20万人を越えた」ともと見ている。

7館に分かれ機器や技術を展示

会場は7館に分かれ、各館ともハイテク時代にふさわしく、プラスチックやゴムの原料、製品、機械などの分野から先端の技術、最新の技術が一堂に展示、実演された。

各館を回って具体的な出品物を見ると、成形



インテックス大阪で開かれた見本市会場の西ゲート広場

機関連ではCD（コンパクトディスク）をはじめとするエレクトロニクス分野での超精密成形、FA・FMSへの対応、コンピュータによる支援技術、工程・生産管理、加工技術の進展ぶりや、品質管理、省力化、多品種少量生産へのニーズの強さがよくうかがえた。

とくに成形機の出品は、展示小間の過半数を占めた。プラスチック成形の総合システムをはじめ、成形工場の情報管理システム、タテ型インサート機の新成形システム、異材質の複合成形など新鋭機やシステムを展示・実演した。

二次加工機ではホットスタンピング機、印刷機、ウェルダー、バリ取り・仕上げ機、静電除去機、表面処理機、切断・打ち抜き機、二次加



最先端の機器や技術が7つのパビリオンにぎっしり並ぶ

出品物分類	内訳	社数
成形機	射出成形機、押出機、インフレーション装置、ラミネータ、その他押出成形装置、圧縮成形機、ブロー成形機、熱成形機、他	95
成形機部品・付属装置	シリンダ(バレル)、スクリュー、射出ノズル、スクリーンチェンジャ、押出用引取巻取機、ペレタイザ、他	18
二次加工機	ホットスタンピング機、印刷機、ウエルダ、バリ取り機、製袋機、包装機、静電除去機・装置、表面処理機、切断・打抜機、マシニングセンタ、二次加工工具、他	89
合理化機器	フィーダ、ローダ、搬送運搬装置、計量装置、粉碎機、回収再生装置、脱湿・乾燥機、金型温調機、金型冷却機、混合・混練機、着色装置、産業用ロボット、取出機、金型交換装置、金型反転機、ホットランナ装置、コンピュータ支援技術関連品、他	92
計器・コントローラ	計器、制御機器、プロセスコントローラ、他	22
試験・測定機	試験機、測定機、他	38
ヒータ	ヒータ、加熱装置、他	7
油空圧機器	油空圧機器・部品、他	14
金型	金型、ダイ、モールドベース、金型部品、型材、金型加工用機器・工具、金型設計ソフト、保管棚、他	26
原料・副資材・素材	成形材料、ゴム、エラストマ、添加剤、副資材、板、シート、管、棒、異形品、フィルム、箔、他	40
製品・半製品	日用品、事務用品、電気部品、自動車部品、工業用品、超精密成形品、産業資材、土木用品、他	26
新聞・雑誌・情報	新聞、雑誌、技術書、データ、情報、他	17

工工具など各ブースともバラエティに富んでいた。

原料・素材では各種成形材料、ゴム、エラストマ、フィルム、添加剤など。製品・半製品では日用雑貨、容器をはじめ食品・包装用さらに家電、OA機器、機械部品スポーツ用品、航空宇宙部品など樹脂の高機能化と相まってプラスチックの利用が、ますます活発化していた。

新製品にステッカー

プラスチック加工の高精度化のカギを握る金型の分野では、金型ダイ、モールドベースはもちろん型材、金型加工用機器・工具から最新の金型設計ソフトまで、かなりの展示スペースを留めていた。

今回の見本市で主催者側では統一テーマを設けず「出品者が出展する新製品や新技術がテーマである」の考え方のもと、テーマ参加展示を出品各社から募集した。この結果、144社から500件の参加があり、参加展示機種に統一ステッカーが貼られ、見やすい展示となった。

次回は65年に東京で

なお、今回の『J P 90-第13回日本プラスチック・ゴム見本市/東京』は、1990年(昭和65年)の11月13日(火曜日)から6日間、東京・晴海の国際見本市会場で開催される。

プラスチック加工機の生産は最高 今年は過去最高の二千億円の大台乗せ確実

わが国のプラスチック加工機械生産は、きわめて高い水準で伸び、今年の生産額は昭和60年以來再び2,000億円の大台に乗せ、しかも同年に記録した過去最高の2,084億円をも上回ることは確実になった。

62年後半から立ち直りを見せる

プラスチック加工機械の需要は、昭和60年以後、円高定着に伴う輸出商品の生産停滞によって漸減してきたが、昭和62年後半から急激な立ち直りを見せ、その傾向は今年の上半期にも引き継がれている。

昭和63年上半期（1～6月）のプラスチック加工機械の生産は、前年同期に比べ台数で26.8%増、金額では26.5%増と大幅な伸びを見せている。

こうした好調は、従来の輸出に大きなウェイトをかけてきた電子・電気などの業界が、内需の再開にシフトし、それが功を奏してきたた

めといわれるが、この景気は年内いっぱいはずくとという。

一方、輸出も円高による激減という予測から見ると、非常に健闘している。周辺機器についても、明確な動きはつかめないが、周辺機器メーカー各社の業績をみると非常に好調で、成形機の場合よりも、さらに高率で増加しているものとみられる。

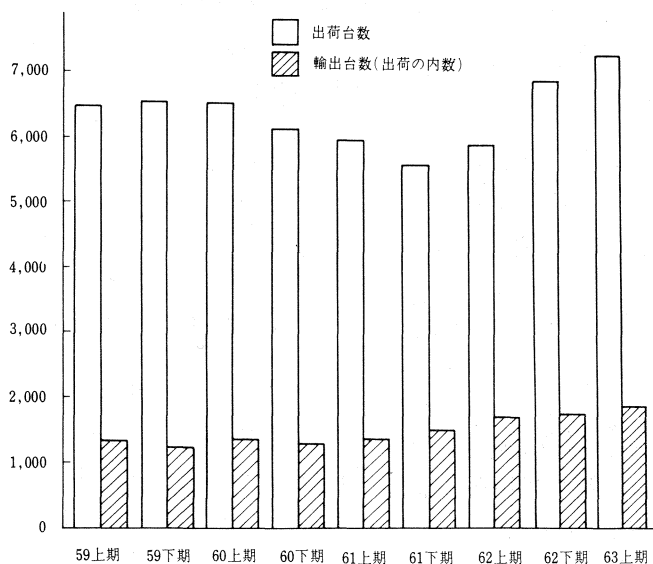
O A 機器や家電の部品生産用に

《射出成形機》 射出成形機の半期別にみた出荷の推移は、59年下期から60年上期にかけて時期をピークとして、61年の下期までは漸減傾向を続けてきた。この急カーブの減少は、59年

から始まった過剰とも思える設備増強の反動と60年後半からの円高相場による輸出関連産業の冷え込みによる。（第1図を参照）

59年下期から60年上期にかけて射出成形機の高原景気の時に支えとなったのは、オフコン、ワープロ、ファクシミリ、複写機などのいわゆるO A機器類だったが、62年下期以後の今日までの射出成形機需要の背景にあるのは家電の好調である。

こうした家電の好調は、輸出品の競争力の低下、内需転換への努力、その他の事情から家電メーカー



第1図 4半期別にみた射出成形機の出荷と輸出の推移（業界統計より作成）

第1表 昭和63年上半期のプラスチック加工機械生産と前年同期比較

機 種 名		単 位	(a) 昭和63年 1～6月分合計	(b) 昭和62年 1～6月分合計	前年同期比 (a)/(b)(%)
射 出 成 形 機	型縮力100 t 未満	台	3,628	2,539	142.9
		100万円	24,330	17,172	141.7
	" 100 t 以上	台	2,135	1,928	110.7
		100万円	22,680	19,069	118.9
	" 200 t 以上	台	1,234	778	158.6
		100万円	19,377	12,731	152.2
	" 500 t 以上	台	309	278	111.2
100万円		14,457	13,049	110.8	
計		台	7,306	5,523	132.3
		100万円	80,844	62,020	130.4
押 出 機	本 体	台	627	543	115.5
		100万円	17,507	15,411	113.6
	付 属 装 置	台	882	855	103.2
		100万円	10,881	9,008	120.8
圧 縮 成 形 機		台	81	60	135.0
		100万円	1,334	769	173.5
ブロー成形機(中空成形機)		台	77	85	90.6
		100万円	1,182	1,252	94.4
カレンダー、真空成形機、圧 空成形機および発泡成形機		台	308	254	121.3
		100万円	3,185	2,401	132.7
合 計		台	9,281	7,320	126.8
		100万円	114,934	90,863	126.5

〔出所〕 通産省機械統計月報をもとに作成＝日本プラスチック機械工業会

一が打ち出した「家電のリフレッシュ作戦」がある。

実ったものという。高品位テレビ、大型テレビCDへのステレオコンポへの組み込み、8ミリVTR、VD、DATといった新商品が続々と登場。また、白物家電として代替需要程度しか見込まれなかった冷蔵庫や洗濯機さえもパーソナル化、差別化ということで生産を伸ばした。

最近では、OA機器だったワープロ、ファクシミリ、パソコンは家庭へ入り込み、ニュー家電製品として現在の家電景気に加えられた。

機種別には中・大型が大幅増加

射出成形機を機種別に見ると、型縮力が200トン以上から500トン未満の中・大型機の増加がとくに大きく、前年同期比で台数では58.6%増、

金額では52.2%増と、非常な伸びを記録している。次いで多いのは型縮力100トン未満のクラスで、前年同期に比べ台数で42.9%増、金額では41.7%と、これもまた高い伸びである。

いずれのクラスも電子、電機部品の成形機に用いられることから、家電の活況ぶりをうかがうことができる。(第1表)

押出機も堅調

《押出機》生産は射出成形機ほどではないが、堅調に動いている。押出機本体の上半期生産は前年同期比では台数で15.5%増、金額で13.6%増。

インフレーションフィルム製造装置は、汎用PE用は停滞しているが、PP用、LLDPE用、超大型機、多層用は好調で

ブローは小物ビン成形用に増加

《ブロー成形機》ブロー成形機の62年生産は、通産省統計では162台、24億4,000万円となっている。これに統計外のダイレクトブロー成形機20億円、ストレッチブロー成形機100億円などを合わせると約150億円となる。

ブロー成形機は相変わらず洗剤、食品用などの小物ビン成形用が順調に伸びている。洗剤用はPEとPVCが中心だが、PEからPVCへの転換が進み、押出ブロー成形機の需要が増加している。

《熱成形機》生産状況は不明であるが、耐熱シート用と工業部品成形用の需要が活発。

製品の高付加価値化に重点を向け

県商工労働部が『岐阜県の商工業88』を発刊 プラスチック業界も紹介

岐阜県の商工労働部は、このほど『岐阜県の商工業88』を発刊した。内容は岐阜県における産業活動の現況や労働事情、さらに商工労働施策のあらましをまとめたもので、このうち52～53ページにはプラスチック製品加工業界の近況が紹介されている。

それによると、概況では「原料樹脂の使用額は樹脂価格の低落、円高メリットなどによりダウンし、製造出荷額そのものは減少したが、生産額そのものは大きく伸び、プラスチック製品製造業は着実に伸びている」また問題点と今後の方向では「従業者数9人以下の小規模・零細事業所が増加しているが、零細企業においては集団化、協業化を行うことが重要である」と示唆している。主な内容は次のとおり。

小規模・零細事業所が大幅に増加

《概況》 プラスチック製造業は岐阜地区、中濃地区を中心に県内各地に860企業が散在し岐阜県7大産業の一翼を担う地場産業である。

しかし、従業者9人以下が76.9%を占め、小規模零細事業所が大半となっている。

生産される製品は管、継手からシート、フィルム、電気・電子機器、事務機械、自動車・車両部品、日用・雑貨品、容器、建築材料、発泡製品、強化樹脂製品、再生プラスチック材料など多品種にわたっている。

事業所数は60年に比べてると、104企業(13.8%)も増加している。これは従業者数9人以下の小規模・零細事業所が大幅に増えたことによる。また、全従業者数も事業所の増加につれ591人増加し、10,618人となった。これは県内工業関係事業所の総従業者数に占める構成比率は3.8%となった。

製造品出荷額は2,365億46百万円で、県内産業の中分類別では第9位(通常分類では金属と機械加工、繊維と繊維加工が合体するのでプラスチックは第7位)となり、その構成比率は5.4%とかなり大きな位置にある。

《問題点と今後の方向》 県内プラスチック

プラスチック製品製造業の現況

(単位：人、百万円)

区 分	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	60年	61年	60年	61年	60年	61年
計	756	860	10,027	10,618	242,545	236,546
プラスチック板・棒、管、継手等	45	39	689	736	15,782	14,042
プラスチックフィルムシート等	55	79	1,796	2,020	84,505	83,842
工業用プラスチック製品	216	253	2,828	2,951	48,808	46,535
発泡・強化プラスチック製品	63	76	755	868	10,742	12,079
プラスチック成形材料	47	57	521	584	7,683	8,644
その他のプラスチック製品	330	356	3,438	3,459	75,025	71,404

製品製造業は、これまで比較的順調に伸びてきたが、円高進行のなかで輸出関連は依然停滞を続け、内需拡大に期待するところが大きい。また、引き続き円高進行の中で、海外主要国の経済動向やアジアNIE Sの動きを展望した場合楽観しがたく、今後、新分野の開拓と取り組まないかぎり成長を望むのは困難な状況にある。

経営・技術情報をつかみ対応図れ

この環境のなかで、企業は経営・技術情報を的確に、かつ迅速に把握すべく対策を講ずるとともに生産技術力の向上を図り、プラスチック製品の高付加価値化を推進、質的拡大が重要。

零細企業においては集団化、協業化等を行い管理・加工技術のレベルアップ、自動化・省力化機器及び成形機の整備・充実が必要である。

高強度・高品質・高精度化へと進む

《先端・先進企業の動向》 県内プラスチック製品製造業において先端・先進企業といえる企業はまだ少ない。新分野の方向としては電気エレクトロニクス関係の機器をはじめとする高強度・高品質・高精度を必要とする工業部品の生産分野が考えられるが、近年は県内企業においてもスーパーエンブラや機能性複合材料を使用した高付加価値製品が製造され始めている。



「樹脂の日」の記念式典

11月14日は「樹脂の日」

愛知県のプラスチック団体が制定

愛知県下のプラスチック関連業界7団体（中部日本プラスチック成形工業協会、愛知県合成樹脂原料協同組合、中部プラスチック連合会、中部ビニール卸協同組合、中部プラスチック板成形工業会、東海プラスチック卸商業協同組合、中日本高周波ビニール協同組合）は、11月14日を「樹脂の日」とし、名古屋市内の翠芳園で制定記念式典を行った。

プラスチックは家庭用品から工業部品にまで使われ、空気のように重要な物でありながら無関心になりがちなため「樹脂の日」を制定、プラスチックの良さを見直してもらい、業界発展の一助にしてもらおうのがねらい。

11月14日としたのは「いい樹脂の日」を意味し、全国業界で初めての制定である。



東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

パートタイムの雇用保険適用を拡大

の雇用保険加入を促進するものである。

労働省・制度を改正し来年度実施をめざす

新たに対象に加える

労働省は雇用保険制度の対象となるパートタイム労働者の範囲を拡大する方針を決めた。所定労働時間が通常労働者の「4分の3以上」となっている現行の規定を「2分の1以上」に引き下げることで拡大する。

労働時間2分の1以上～4分の3未満のパートタイム労働者の失業給付日数は、被保険者期間1年未満は50日、1年以上～5年未満は90日、5年以上は180日（ただし、30歳未満は90日）

ただし、新たに対象に加わるパートタイム労働者には、失業給付の給付日数を一般の90～300日より少ない500～180日とする考えである。この対象拡大に伴いパートタイム労働者の加入者は50万人程度増えると労働省は見ている。労働省としては中央職業安定審議会で意見を聞いたうえで、国会へ「雇用保険法改正案」として提出、来年度からの実施をめざす。

労働省はこうした適用拡大に伴う国庫負担は「20億円は必要」と見て、大蔵省との予算折衝に全力をあげる方針である。

中小10社がプラスチック素材開発

京都府下の中小企業10社は、このほど融合化法による事業協同組合を設立し、異業種交流により間伐材・廃材を利用したプラスチック素材の開発に取り組んでいる。

その組合名は京都木材資源開発協同組合で、電気機械、染工、ケース、度器、化学、プラスチック加工の専門企業が参加し、地場産品である北山杉の磨き丸太を生産する際に生ずる間伐材・廃材の有効利用をめざす。

適用の拡大で国庫負担は20億円

現在、パートタイム労働者については①雇用期間が1年以上見込める②賃金が年90万円以上になる一などを条件に、所定労働時間が通常労働者の4分の3以上の人には雇用保険を適用しているが、雇用期間や年間賃金などの条件はそのままであった。

開発には木材のプラスチック素材化の研究を続けている京大林産工業学室と、木材接着剤などに独自の技術を持つ豊年石油が協力する。資金は、事業計画が融合化法に適合すれば国と京都府から1,900万円の補助金を得て行う。

このため所定労働時間を2分の1以上までに改正、適用範囲を広げることによって、パート

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバデュール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC NOVATEC-L

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

アート・コミュニケーター

企業の中で、一つの開発計画が持ち上がるといういくつかの企画案の検討がなされた後、具体的な開発プロジェクトとして動き出す。

県内企業の中には、開発計画—企画検討—開発実施といった順序も常に変動的になりがちで企画案に沿ったデザインコンセプトにより動き出すデザイナーにとっては、クライアントの企画変更は大きな問題であり、クライアントにとっても大きなリスクを背負う事にもなりかねない。

では、「企業では誰が決定・管理するか」といった問題になるが、商社や問屋からの注文や企画が、企業からそのままデザイナーに依頼されデザイナーに開発企画案の内容が十分に理解されないまま、製品デザインがすすめられたり、企業独自の開発についてもデザイナーの選定やデザインの依頼の仕方が十分でなかったりすることからも、今のところあいまいにされていることが多いようである。

そのため、スケッチやデザイン図面の段階でデザインコンセプト自体が問題にされたり、アイデアデザインの選定評価が間違ってしまう、結果としても企業内容からはずれたデザイン開

発に終る事になる。

企業内デザイナーによって、デザイン開発がなされている所は、開発計画や企画会議に参画する事によって、こうした不合理性を正していけばいいのだが、外部デザイナーへの依頼となるとそうもいってられず、まして東京や大阪などへの依頼はコミュニケーションをいかにとるかが問題になる。

さて、ここで提案、県内企業の多くのひとはデザイナーを東京や大阪に求める傾向にあり、コミュニケーションのとりやすさからすればこの事自体すでに考え直さなければならないが、問題は企画に合ったデザイナーの選択やデザインプロジェクトの構成であり、クリエイティブディレクターやアートディレクターをまず企業内あるいは企業に一番近い人で確保する必要がある。

そして、デザイナーの把握、デザイン業界の動き、競合企業の製品デザインとの差別化、そして自社企業の開発企画案について資料を揃え、的確にデザインの実施段階に伝えられる人(アートコミュニケーター)の養成こそ、デザイン開発環境の不足する地方産業のデザイン開発力向上のカギになるのではないだろうか。

(県工業技術センター 技術振興部デザイン)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーポネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎ 052-231-8611

支払調書の提出は1月末日までに

給料、報酬、料金、利子、配当などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類（支払調書）を税務署へ提出することになっている。

この支払調書は、1年間の支払分をとりまとめて提出するもので、提出期限は利子、配当などの一部を除き、支払った年の1月31日となっている。提出された支払調書は、支払先ごとに名寄せ整理され、適正課税の資料となる。なお支払調書の種類は数多くある。

給与の源泉徴収票や支払報告書も

昭和63年中に給料、賃金などの給与等を支払った場合には、支払者は「給与所得の源泉徴収票」を作成し、昭和64年1月31日までにすべての受給者に交付するとともに、一定金額（詳細

は最寄りの税務署で）以上の受給者のものを税務署へ提出することになっている。

また「給与所得の源泉徴収票」と同時に複写される「給与支払報告書」は、金額の多寡にかかわらず、すべてのものを受給者の昭和64年1月1日現在の住所地市町村へ提出することになっている。

誤って貼った印紙は還付の請求を

印紙税がかかる文書には領収書、借用証書、不動産売買契約書のほか請負契約書、手形、委任状、預金通帳、地代・家賃通帳などいろいろあり、25種類に分類されている。

もし、印紙税法に定められた金額を超える収入印紙を貼ってしまったり、印紙税のかからない文書に収入印紙を貼ってしまった時は、その文書を税務署に提示し、還付請求の手続きをし還付を受けることができます。

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94

JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

◇初行事、1月に新年懇親会を開催◇

「J P88 -第12回日本プラスチック・ゴム見本市/大阪」の見学旅行はいかがでしたか。あいにく旅行日が5・10の日にかかり、納品や集金で参加していただけなかった方々もありますが、今回は見学にお笑いを取り入れ、大阪は道頓堀の梅田花月でリラックステキになりました。

大松理事長の死去に直面したり、工業組合創立20周年の記念式典を行うなど、今年はプラスチック業界にとって激変の年でした。その63年もあと一か月、また新しい年を迎えます。

新年の初行事として『新年懇親会』を開催計画しています。一人でも多くご参加くださるようお願いいたします。

◇暖房機器の一括購入・販売を行う◇

毎年冬に工業組合が恒例事業として「暖房器具の一括購入・販売」を行っていますが、今年の商品はコロナの暖房機器です。内容は先にカタログをお送りしたとおりですが、例えば①石油ストーブ、超音波加湿器類は定価の3割引き②電気ストーブ、温水式床暖房が2割引き③工

場や事務所用の大型石油暖房器ニューブルーバーナーは3割引きです。

なかでも電子カーペット(2畳相当DC-203カバー付)が2万3千円で販売します。いずれもご希望は、早めに工業組合事務局へご連絡ください。すでに求められた松下製クオーツファンヒーター(業務用)の替え芯もご用意しました。

◇火災は早期発見・そして初期消火◇

消火器のトップメーカー・ヤマトの「二酸化炭素消火器」(業務用)をあっ旋しております。泡・粉末消火器と違いほとんど汚すことはなくちょっとした出火にも、すばやく消火しあと始末もほとんど手間いらずです。また消火スピードが早いので、配電設備や機器等に威力を發揮します。ご注文は工業組合まで。

岐阜県のプラスチック 1988 85号

昭和63年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 篠田裕之

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト®

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード®

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



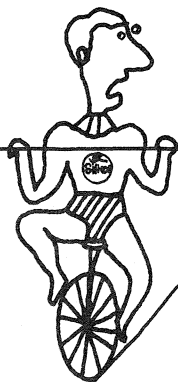
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

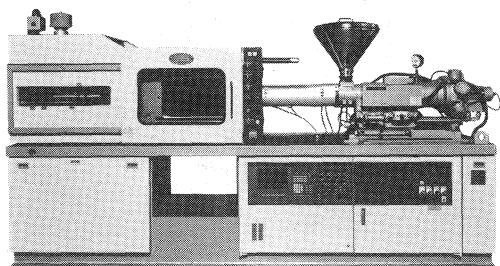
信越化学/名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

射出成形を知りつくしたNISSEIだから 満足出来る高度ソフトいろいろ。

— 射出成形機づくり40年。先進技術で常に業界をリードし続けるNISSEI—
射出成形機を「精密産業機械」として位置づけ、あらゆるニーズに応える豊富な機種・システムが、各産業界から高い評価を得ています。しかも、ユーザーの皆さまの利益追求のために、長年の経験を生かし、射出成形をトータル的な視野でとらえ、多様化する成形加工の課題に挑みつつ、明日のプラスチック産業の発展にむけて、大きく前進しています。



NISSEI

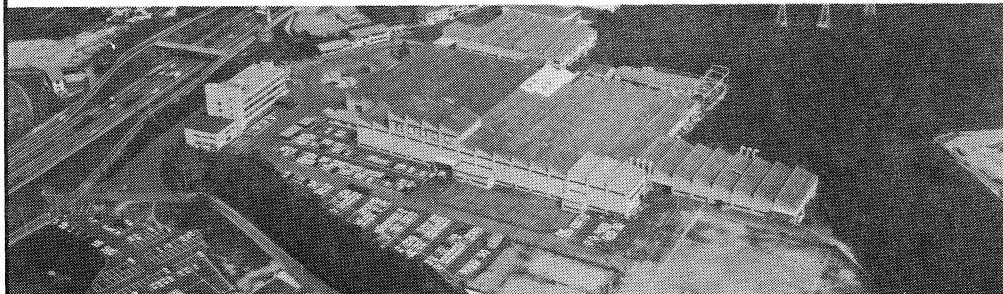
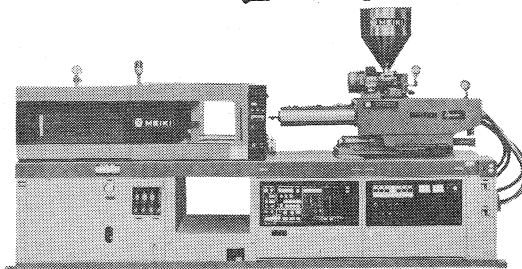
プラスチック射出成形機・世界のトップメーカー

日精樹脂工業株式会社

岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市善部寺屋敷3-40番ビル1F ☎(0582)72-5952
 本社・工場/長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)
 ■東京事務所 ■営業所/西関東・東関東・大阪・名古屋・長野・東北・広島
 ■出張所/全国29ヵ所 ■海外サービスステーション27ヵ所19ヵ国

MEIKI の理想は名機です

プラスチック射出成形機の
 専門メーカーとして、型締力35
 トンの超小型精密機から
 12,000トンのジャンボダイナに
 至るまで、プラスチック射出成形
 機一筋にかける情熱は、各種の
 名機を業界へ送り出しています。



株式会社

名機製作所

本社・工場

愛知県大府市北崎町大根2 電<0562>48-2111

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

いつもクリーンでいたいから、飾る気持ちで選びたい。



GRACE

Utility goods & Chic circumstance

—— グレイスシリーズ ——

様々な暮らしの道具の中で、これほどベーシックで、また、なくてはならないものはありません。グレイスは屋内・外をとわず環境にマッチするデザイン配慮をコンセプトにした質の高いシリーズです。決して飾らない道具達が新しい住空間を創造します。

RISU リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスバック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)